



低中分子創薬・バイオ創薬×AIの第二の技術突破の波に
対応するバイオ投資の目利きを
ケース・スタディに基づいて行う人材開発プログラム。
慶應大学先端生命科学研究所での実習を始め、
斯界のキーパーソンと議論する充実のカリキュラムをご用意。
先端研究者や有望ベンチャー、投資家、政府関係者との
強固なネットワークも築けます。

第8期 (通算25期)

バイオインベストメントギルド(BIG)

主催：(株)宮田総研

自公政権の少数与党化、米国のトランプ大統領の大胆な政策転換によって国内外で政治的・経済的流動化が加速されています。ロシアのウクライナ侵攻やイスラエルによる中東地域での戦争拡大と中国の経済後退により地政学リスクも高まって来ました。

2024年は日米ともバイオ・ベンチャーに資金流入、わが国では過去最多の5社のIPOが成功しました。しかし、2025年は資金の逆流が起こり、バイオ・ベンチャーのIPOは0社と全く振るわず、既存のバイオ・ベンチャーの資金調達も難渋しつつあります。また、東京証券取引所のグロース市場改革によって、上場後5年で株価総評価額100億円以上の新規ガイダンスの導入表明も、ベンチャー企業の上場を躊躇させる結果となりました。

欧米のリセッション、そして日米の市場のバブル状態から、まず1年以内の市場崩壊のリスクが高まっています。バイオ・ベンチャーの投資回収もIPOだけでなく、M&Aなど柔軟に戦略を練る、新しい段階に入りました。一方、わが国政府は大胆なベンチャー振興策を打ち出してきました。驚いたことに、2022年度の補正予算から今までに経済産業省は合計3000億円ものベンチャー企業に対する補助金を確保、VC投資と協調して我が国のベンチャーにも投入されつつあります。欧米では当たり前であったベンチャー企業振興が実現しつつあるのです。創薬エコシステムという政策は世界から注目を集め、資金調達に悩む欧米のVCがわが国の投資に殺到しつつあります。大企業においても終身雇用制度が完全に揺らぎ、リストラが常態化、中高年齢層そして若者の流動化が本格化してきました。不況期こそ開業率が向上し、次の時代を担うベンチャー企業誕生のチャンスが増すのです。

今や世界の新薬の8割が3000社以上バイオ・ベンチャーによって創製され、100数10社に過ぎない製薬企業は創薬の主人公の座から追われています。ドラッグ・ロスの一つの重大な原因に、我が国のバイオ・ベンチャーの起業数と新薬開発力の不足があります。根本的に解決するためにはバイオ産業や世界の未来を見通し、事業や起業を推進する目利き人材養成が不可欠なのです。

既に25年間も継続している、バイオ・インベストメント・ギルドでは、バイオ研究開発、投資、産業政策のキーマンを講師として招き、近未来のバイオ産業やバイオ研究を洞察する議論を参加者と展開いたします。また、更に成長しつつある鶴岡バイオクラスターにおける実習とバイオ・ベンチャーの若き経営者との交流会も予定しています。業種を超えた参加者の交流は、視野を拡大、イノベーションを育むネットワークを形成するのです。

今回はバイオとAIの融合、低分子の復権、新たなバイオ・イノベーションにも注目、低分子から中分子、そしてバイオ医薬まで幅広い創薬で進行中のイノベーションに焦点を当てます。この機会に、貴社の有望な人材のご参加をいただき、未来を拓くバイオ・ベンチャーのコミュニティに是非、貴社がご参加いただく契機としていただきたく、第8回BIGを案内申し上げます。



株式会社 宮田総研 代表取締役社長 宮田 満

プログラム概要



第8期 バイオインベストメントギルド(BIG)

目的

バイオベンチャーに投資を行い、バイオ産業を成長させる投資人材を育成する。
国内外の Best&Brightest の才能との連携を提供し、技術突破を実現する。

カリキュラム

1 セミナー

原則第2金曜日 18時から20時半+講師を囲んだV懇親会
単なる座学ではなく、討議を中心に展開
毎回、市場や技術に関する俯瞰的レビューと投資のリスクを解説
最先端の研究者と有望ベンチャーのキーマンを講師として招聘
講義のハンドアウトをクラウドで可能な限り提供します

2 実習 鶴岡までの往復交通費は別途負担願います、参加者は抽選で選抜)

2026年11月予定、山形県鶴岡市の慶應義塾先端生命科学研究所で、遺伝子操作から最先端のメタボローム解析までを体験します。初歩の初歩から説明いたしますので、まったく未経験の方でも参加できます。実際に実験して、バイオを体感することが重要です。これによって実際の技術の落とし穴を見抜く力を養います。また、最先端のバイオの講義に加えて、同研究所からスピンアウトした9社のバイオ・AIベンチャーとの交流も行います。鶴岡市が全面的に支援。新型コロナによっては開催できない場合もあります。

3 参加会員専用メーリングリスト

講義の案内や実習のオリエンテーションなどをお知らせいたします。

日程・会場

日程：

2026年7月10日(金曜日)から開始

原則第二金曜日(8月、12月は休講)

WEB会議は18時より20時半+リモート懇親会、リアルの場合は16時から18時半

会場：

WEB会議、年3回程度のリアル・WEBのハイブリッド開催を予定

費用

1名 150万円(税別)

本プログラムの参加は企業単位で承ります。参加費用は受講生1名当たり150万円。2名参加希望の場合は300万円です。3名以上の参加は原則としてお受けできません。1名の受講生が全コースを履修することが望ましいですが、代理出席も認めております。講義代、実習費用、資料代も含んでおります。

一人が全コースを履修することが望ましいですが、代理出席も認めております。講義代、実習費用、資料代も含んでおります。

支払い方法：4ページ目の申込書をPDFでメール添付送信していただいた後、請求書を送付させていただきます。指定の口座にお振込み願います。



第8期 バイオインベストメントギルド (BIG)

2026 年

7月 オリエンテーリング リアル・WEBハイブリッド・セミナー
参加者自己紹介プレゼン+「バイオ産業の最新潮流」

8月 休 講

9月 AI創薬の最前線(1)
(Veritas In Silico、MOLCURE)

10月 AI創薬の最前線(2)
(FRONTEO、ベンチャーX)

11月 AI×生命科学の落とし穴
(理化学研究所 DAIIA、京都・弘前大学)

鶴岡実習 [11月の金・土曜日に開催]
バイオ実習(メタボローム等)と鶴岡クラスターのベンチャーと交流
(慶應義塾大学先端生命科学研究所)

2027 年

1月 新春、2027年のバイオ・ベンチャー大予測
リアル・ハイブリッド
(2026年に上場したバイオベンチャー企業のCEO/CFO)

2月 再生医療薬効の手ごたえ
(リジェネフロ、RAINBOW)

3月 mRNA医薬の実用化と立ちはだかる壁
(NANO MRNA、東京理科大学)

4月 中枢神経疾患開発のブレイクスルー
(JCR ファーマ、XNEf)

5月 肥満薬新薬開発は終わったのか?
(NB健康研究所、東京科学大学)

6月 たんぱく質分解薬の夢と現実
リアル+ハイブリッド
(アステラス製薬、愛媛大学)

2026 年 7 月 10 日金曜日から開催開始

第8期 バイオインベストメントギルド (BIG)

申込書 (2026 年 - 2027 年) 55 社限定先着順

企業単位で申し込みを承ります。下記に必要事項を記入し、PDF でメール添付送信願います。

申込期限 : 2026 年 6 月 12 日 (金) 必着

送信先 : manman5453@hotmail.co.jp (宮田宛て)

管理 No.BC

会社名			
所属部署			
申込者氏名	セイ 性	メイ 名	
ご住所			
TEL	— —	FAX	— —
E-mail			
請求書送付方法	どちらかにチェックを入れてください。 ☐ メール添付 ☐ 郵送		
請求書送付先	会社名		
	所属部署		
	ご担当者名	セイ 性	メイ 名
	ご住所		
	TEL	— —	FAX — —
	E-mail		

お問い合わせ (株) 宮田総研 宮田 満 manman5453@hotmail.co.jp 090-2435-2114